

令和6年度(2024年度)

# 学生募集要項

和歌山助産学専攻科

東京医療保健大学

## 試験会場へのアクセス



和歌山助産学専攻科に関するお問い合わせは下記までお願いします。

受付時間：9:00～17:00(土日祝は除く)



## 東京医療保健大学

【お問い合わせ】和歌山助産学専攻科和歌山事務部  
〒640-8269 和歌山県和歌山市小松原通4-20  
TEL 073-488-1907 Email wakayama-midwifery@thcu.ac.jp



大学基準適合認定  
東京医療保健大学は、2018年度に  
公益財団法人大学基準協会の評  
価の結果、同協会の大学基準に  
適合していると認定されました。認定  
期間は、2019年4月1日より7年間  
(2026年3月末日まで)となります。

## ディプロマ・ポリシー (DP)

変化する時代と社会を見据えながら、地域社会に貢献できる助産師を育成する。

所定の単位数を修得し、以下の資質・能力の素養を身につけた者に修了証書を授与する。

1. リプロダクティブヘルス/ライツを理解し、そのwell-beingを継続的に支援する方法が分かる。
2. 助産に関する専門的な知識とテクニカル・スキルを習得し、助産の対象が安全で満足する分娩を行えるように、自律して行動できる。
3. 生命の尊厳を尊重でき、高い倫理観で多様な性を持つ人々と助産の対象を全人的に受け入れ寄り添うことができる。
4. 助産師の役割と責務を考えながら多職種と連携し、母子保健の向上に寄与する行動がとれる。
5. 学修経験から自己の課題を分析でき、専門職としてのアイデンティティの成長がみられ、時代の変化に応じて助産を創造し続けるために研鑽する姿勢が身に付いている。

## カリキュラム・ポリシー (CP)

ディプロマ・ポリシーを踏まえ、以下のカリキュラム・ポリシーを定める。

1. リプロダクティブヘルス/ライツの概念、意義そして性と生殖に関するwell-beingを生涯にわたって継続的に支援する方法を学ぶ。
2. 母子ともに安全・安楽で満足する分娩介助を行うための助産の専門的な知識と臨床判断能力、助産のテクニカル・スキルを学ぶ。
3. 生命の尊厳と倫理観について考え、多様な性を持つ人々の受容と助産の対象を全人的に受け入れ寄り添うための内容を学ぶ。
4. 施設と地域との連携、多職種連携の必要性について学ぶとともに、地域母子保健および国際母子保健など母子を様々な側面から捉え、助産師の役割、責務と取るべき行動について学ぶ。
5. 専門職としてのアイデンティティの成長と助産を発展させる過程を学ぶ。

## アドミッション・ポリシー (AP)

看護基礎教育を修了し学士を授与された方で、以下の資質を有する人材を求めるとともに、適正かつ公平な入学試験を実施する。

1. 論理的思考と柔軟な発想を有し、助産学の発展に貢献したい人
2. 生命誕生に関心を持ち、生命に対して真摯に向き合える人
3. 豊かな感性と倫理観を持ち、寛容な心で人に接することができる人
4. 地域の母子保健向上のために貢献する意欲のある人
5. 主体性と自律性を持ち、自己学習できる人

## 目次

ディプロマ・ポリシー	1
カリキュラム・ポリシー	
アドミッション・ポリシー	
添付書類一覧	2
募集定員	3
出願期間・試験日・合格発表・入学手続 出願資格	
出願方法	4
試験会場 選抜方法	
入学試験に関する注意事項	5
入学を辞退する場合の取り扱い 個人情報の取り扱いについて 教育訓練給付制度(一般教育訓練給付)	
学納金	6
授業科目と修了要件 奨学金制度	
入学願書の書き方	7

## 添付書類一覧

入学願書  
推薦書  
自己推薦書  
施設長推薦書  
受験票・写真票  
検定料振込依頼書  
出願用封筒[挟み込み]

## 募集定員

10名(学部内推薦者若干名含む)

## 出願期間・試験日・合格発表・入学手続

区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続期間
公募推薦入試 社会人推薦入試 一般入試	令和5年 9月1日(金)～9月8日(金) 必着	9月18日(月)	9月23日(土)	9月25日(月)～10月6日(金)

- 合否結果は合格発表日に郵送いたします。また、合格者には合格通知書と入学手続書類を郵送いたします。  
なお、電話等による判定結果の問い合わせには一切応じません。
- 合格者は、上記の入学手続期間内に入学手続を完了してください。
- 上記の入学手続期間内に入学手続を完了しないものは、入学の意思がないものとみなし、合格を取り消します。
- 入学手続期間内に入学金、前期分の授業料、教育充実費の入金が必要です。
- 令和6年4月入学時まで看護師免許を得られなかった場合、入学許可を取り消します。その場合、入学金を除く入学手続時納入金を返還します。

## 出願資格

次の①～⑦のいずれかに該当する女性で、かつ、看護師の免許を有する者、または出願時において看護師国家試験の受験資格を有する者(取得見込みの者を含む)。ただし、入学時には、看護師国家試験に合格していることが必要である。

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① 大学(学校教育法第83条に定める大学をいう。以下同じ)を卒業した者または卒業見込みの者</li> <li>② 学校教育法第104条第4項の規程により、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者または令和6年3月末日までに授与される見込みの者</li> <li>③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者</li> <li>④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ 我が国において、外国の大学の課程を有する者として当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設にあって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者</li> <li>⑥ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者</li> <li>⑦ 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)</li> </ul> |
|---|---|

## 出願方法

以下の出願書類をまとめ、巻末にある角2封筒に入れて、簡易書留で郵送してください。

<input checked="" type="checkbox"/>	出願書類	備考	
<input type="checkbox"/>	入学願書(様式1)	本学所定様式(所定欄に写真を貼付)	
<input type="checkbox"/>	受験票・写真票	本学所定様式(所定欄に写真を貼付) ※3カ月以内の写真添付	
<input type="checkbox"/>	検定料振込受付証明書	35,000円を所定の振込用紙で金融機関から振り込んでください。 証明書は写真票裏面に貼り付けてください(コピー不可)	
<input type="checkbox"/>	成績証明書	最終学歴の学長が作成したもの。(発行後3カ月以内のもの) ※外国の教育機関を修了した場合は、日本語訳を添付してください。	
<input type="checkbox"/>	卒業証明書又は卒業見込証明書		
<input type="checkbox"/>	看護師免許証の写し	看護師免許保有者は看護師免許証の写し(A4判に縮小したもの) ※取得見込み者は看護師国家試験合格証の写しを合格後に提出	
<input type="checkbox"/>	公募推薦入試	推薦書	本学所定様式(公募推薦入試用) ※公募推薦入試以外は提出不要
<input type="checkbox"/>		自己推薦書	
<input type="checkbox"/>	社会人推薦入試	施設長推薦書	本学所定様式(社会人推薦入試用) ※社会人推薦入試以外は提出不要
<input type="checkbox"/>		自己推薦書	
<input type="checkbox"/>	受験票返送用切手代	323円分の切手を受験票ハガキに貼り付けてください。	
<input type="checkbox"/>	合否結果通知用切手代	370円分の切手(140円切手×2枚、90円切手×1枚)を同封してください。	

出願に関する注意事項

- 出願後の出願書類の変更は認められません。ただし、住所、氏名、電話番号に変更があった場合には、速やかに和歌山事務局まで連絡してください。
- 入学検定料、出願書類は一切返還いたしません。
- 厳封の出願書類は開封無効です。

送付先

〒640-8269 和歌山県和歌山市小松原通4-20  
東京医療保健大学 和歌山助産学専攻科 和歌山事務局 宛

## 試験会場

東京医療保健大学 日赤和歌山医療センターキャンパス  
和歌山県和歌山市小松原通4-20

## 選抜方法

専門科目試験(母性看護学、小児看護学)、小論文、面接、出願書類の内容を総合的に判断して選抜します。  
尚、各選抜方式の配点及び試験時間は下記の通りです。

	公募推薦入試 (専願制)	社会人推薦入試 (専願制)	一般入試 (併願制)	入室完了時間	試験時間
小論文	100点(60分)	100点(60分)	100点(60分)	11:50	12:00～13:00
専門科目	100点(60分)	100点(60分)	200点(60分)	13:10	13:15～14:15
面接	100点(15分)	100点(15分)	100点(15分)	14:25	14:30～
推薦書	100点	100点			

- 受付開始時間は11時からとなります。
- 入室完了時刻には必ず席についているようにしてください。
- 面接の終了時刻は各人によって異なります。面接終了後は学内にとどまらず、速やかに帰宅してください。

## 入学試験に関する注意事項

- 試験当日は、受験票及び筆記用具を必ず持参し、受付で受験票を提示してください。
- 試験開始後の遅刻者は、原則として、受験を許可しません。
- 試験室への入室、試験の開始及び終了の時刻は口頭で合図します。
- 試験室では受験票と同じ受験番号の机に着席し、受験票を机の上に置いてください。
- 試験室では答案作成に必要な黒色鉛筆(シャープペンシルも可)、消しゴム、定規、時計以外の物は、机の上に置いてはいけません。  
(計算機能、辞書機能等を有する時計・文具の使用は認めません)
- 携帯電話等を持参している者は、電源を切って、かばんの中に片づけてください。
- 試験中、質問がある場合は、手を挙げて監督者の許可を受けてください。
- 試験中に不正行為があった者には退室を命じ、それ以後の受験は許可しません。
- 試験当日は、各自昼食を持参してください。
- キャンパス内に駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

## 入学を辞退する場合の取り扱い

公募推薦入試、社会人推薦入試は専願制のため入学の辞退は原則できません。一般入試(併願制)で入学手続完了後、やむを得ない理由により入学を辞退する場合、令和6年3月22日(金)(消印有効)までに、「入学辞退届」及び「納入金一部返還願」を提出してください。入学金を除く入学手続時納入金を返還します。なお、令和6年3月29日(金)以降の入学辞退の申し出については、入学手続時納入金は返還いたしません。

## 個人情報の取り扱いについて

本学における入学志願者の個人情報の取り扱いについては下記のとおりとします。

- 出願書類により入手した住所、氏名、その他の個人情報について、下記の用途以外では一切使用しません。
  - ・願書に不備があった場合の連絡
  - ・合格した場合の合格通知書、入学手続書類や入学式等の案内の送付・連絡
- 個人を特定しない形での統計処理結果については、パンフレット、ホームページ等で公表します。

## 教育訓練給付制度(一般教育訓練給付)

本学専攻科は「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座(一般教育訓練給付)」の指定を受けています。

一定の受給要件を満たす方(雇用保険の被保険者期間3年以上)が、教育訓練終了後、本人がハローワークへ申請することで、教育訓練経費の20%(上限10万円)の教育訓練給付金が支給される制度です。

※詳しくは最寄りのハローワークにお問い合わせください。

## 学納金

入学金	授業料	教育充実費	計
210,000円	1,150,000円	250,000円	1,610,000円

- 学生は、総合補償(日本看護学校協議会共済会の共済制度「Will2」1年間4,500円)への加入を義務付けています。また、入学後、学納金以外に専門書、研究に係る教材費、ユニフォーム代等が別途かかります。
- 学納金は、前期・後期の分納となっております。  
前期分 914,500円(入学金 210,000円、授業料575,000円、教育充実費125,000円、保険料4,500円)  
後期分 700,000円(授業料 575,000円、教育充実費 125,000円)
- 入学金は理由の如何を問わず返還いたしません。一般入試(併願制)で入学手続完了後、入学を辞退する場合、所定の手続きの後、入学金を除く入学手続時納入金を返還します。

## 授業科目と修了要件

### ● 授業科目

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
助産学 基礎領域	助産学概論	1	
	ウイメンズヘルス総論	1	
	マタニティヘルス総論(周産期の生理と病態)	2	
	乳幼児の成長・発達	1	
	母子と家族の心理社会学	1	
	生殖医療と生命倫理学	1	
助産学 実践領域	助産診断・技術学I(妊娠準備期から妊娠期)	2	
	助産診断・技術学II(分娩期)	2	
	助産診断・技術学III(産褥期)	1	
	助産診断・技術学IV(新生児・乳幼児)	1	
	助産診断技術学演習(分娩介助)	2	
	周産期の救命救急演習	1	
	女性と家族の健康教育	1	

区分	授業科目	単位数	
		必修	選択
助産学 実践領域	カウンセリング論	1	
	地域母子保健学	2	
	助産管理学	1	
	助産学実習I(基礎助産実習)	2	
	助産学実習II(分娩介助と継続事例の実習)	7	
	助産学実習III(ハイリスク実習)	1	
	助産学実習IV(地域母子保健助産管理実習)	2	
助産学 発展領域	助産学研究	1	
	災害と助産	1	
	英語文献講読	1	
	遠隔診療技術の基礎		1
	国際母子保健活動論		1

- 修了要件 1年以上在学し、必修科目36単位、選択科目1単位以上、合計37単位以上を修得すること。

※令和5年度に教育課程の変更申請予定。授業科目・単位数・修了要件に一部変更の可能性があります。

## 奨学金制度

日本学生支援機構による奨学金制度(貸与型)

- (1) 種類 第一種(無利子貸与):【自宅】月額20,000円、30,000円、40,000円、54,000円<sup>※</sup>  
【自宅外】月額20,000円、30,000円、40,000円、50,000円、64,000円<sup>※</sup>から希望により選択可能  
(※最高月額は申込時の家計収入が一定額以上の方は選択できません)
- 第二種(有利子貸与):月額20,000円から120,000円まで10,000円単位で選択可能
- (2) 募集時期 毎年春
- (3) 選考方法 本学の選考を経た後、当該機構の審査により採用が決定します。